

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大同エアプロダクツ・エレクトロニクス株式会社 広島ガスセンター

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地5679番地1

(3) 業種

圧縮・液化ガス製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 21年度を基準年度とし、平成 22年度から平成 26年度までの 5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))								
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
													上段:見込量(b)
エネルギー起源CO ₂													
非エネルギー起源CO ₂													
メタン													
一酸化二窒素													
フロン類													
温室効果ガス実排出量総計													
温室効果ガスみなし排出量													
実績に対する自己評価	実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの排出原単位 = 排出量(t) / 製品供給量(百万Sm ³)
エネルギー消費原単位 = エネルギー使用量(kl) / 製品供給量(百万Sm ³)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))				
		平成21年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	上段:目標(b)	下段:削減率(c)	上段:原単位実績(d)	下段:削減量の対基準年度比(e)				
エネルギー起源CO ₂	171.6	163.0	162.0	182.0	163.9	187.6	188.1	
非エネルギー起源CO ₂		5.0	5.6	-6.1	4.5	-9.3	-9.6	
メタン								
一酸化二窒素								
フロン類								
温室効果ガス排出量総計	171.6	163.0	162.0	182.0	163.9	187.6	188.1	
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	63.75	—	64.10	62.67	62.36	63.59	65.58	
		—	-0.5	1.7	2.2	0.3	-2.9	
実績に対する自己評価	客先需要の変動がプラント運転効率に影響しやすく、特に平成25～26年度にはその増減幅が大きくて各原単位が基準年度比で増加した。状況に即してプラント運転効率の悪化を最小限とする取組みを継続しており、全社としては他部門との協力によりエネルギー消費原単位の低減活動を継続している。(後述ご参照)							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	(広島ガスセンター) ・温室効果ガスの排出原単位 ・エネルギー消費原単位	基準(平成21)年度比でのH26年度実績 ・温室効果ガスの排出原単位：9.6%増加 ・エネルギー消費原単位：2.9%増加	<ul style="list-style-type: none"> ・新広島ガスセンター(仮称)内に高効率・大型N2プラント1基を2015年度～2016年度に建設し、顧客ガス使用量動向に対応して、中小N2プラントを停止し、両ガスセンター合計で効率運転を行うことで、中長期的に電力原単位低減を図る。 ・プラント適正運転(随時：生産量に対する消費電力の調整) ・大型圧縮機の吸込フィルター清掃または交換(年毎：圧損低減) ・送風機の駆動ベルト増張または交換(月毎：機械損の低減) ・冷却水ポンプ、冷却塔ファンの余剰運転停止(冬季随時) ・自社生産液化窒素の有効活用によるエネルギー原単位の改善活動 ・事務室、不要照明、冷暖房、事務機器の適正管理および不要時停止
2	(全社での取組み) エネルギー消費原単位の低減	基準(平成21)年度比でのH26年度エネルギー消費原単位の実績 【圧縮ガス・液化ガス製造に関わる部門】 ・三重：6.7%低減 ・広島：2.9%増加 ・長崎：4.9%増加 ・部門TOTAL：4.3%低減↓ 【主に管理事務を行なう本社等の部門】 ・部門TOTAL：55.2%低減↓	各部門による活動 【圧縮ガス・液化ガス製造に関わる部門】 ・三重：機器メンテナンス及び効率化、プラント適正運転 ・広島：機器メンテナンス、プラント適正運転 ・長崎：機器メンテナンス、プラント延命工事に伴う効率化 【主に管理事務を行なう本社等の部門】 ・空調機メンテナンス、温度管理等、機器類の不要時停止
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ガスセンター清掃活動	—	2ヶ月毎以内での実施を継続
2	環境ISO活動	環境マネジメントシステムの定着化	環境マネジメントプログラムの作成、実行
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。